

A、  
B

平成三十年年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国  
語

前  
期  
日  
程

注  
意  
事  
項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、八ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

# 本文省略

(西垣通『集合知とは何か』(中公新書、二〇一三年)より)

(注) \*新自由主義：政府による管理や裁量的政策を排し、経済活動をできる限り市場に委ねようとする考え方。

\*計画経済：商品の生産・流通・販売などについて、政府が計画を立てて運営すること。

\*リーマンショック：アメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズの破綻と、その後続発的に発生した世界的金融危機を総括的によぶ。

問一 傍線部①「こういった知のとらえ方」とは、どういうことか。本文の内容に即して述べなさい。

問二 傍線部②「新たな権威主義」とは、どういうことか。「新たな」点を明らかにしながら述べなさい。

問三 傍線部③「知識社会の幻想」とは、どういうことか。傍線部より後の本文を用いて述べなさい。

問四 傍線部④「思考力が衰える恐れもある」とあるが、それはなぜか。本文の内容に即して述べなさい。

問五 傍線部⑤「両者のあいだには本質的ちがいがある」とあるが、著者はこの両者のちがいを説明するために以下に引用した例を挙げている。これを踏まえて、(a)著者は何と何とのあいだにちがいがあると考えており、(b)以下の引用文の例では何とのちがいとして説明しているか。後に挙げた(a)と(b)の選択肢の中から最も適切なものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

## 引用文省略

\*ジャーゴン：仲間うちだけに通じる特殊用語。

(a)

- ア 知識社会と知識命題
- イ 体験知と所与の知
- ウ 知識社会と体験知
- エ 知識命題と所与の知

(b)

- ア 事物の概念と音声記号
- イ 幼児とネイティブ
- ウ 試行錯誤と暗記
- エ 母語とジャーゴン

問六 傍線部⑥「知の構築」とあるが、筆者の考えるそれはどのようなことか。本文の内容に即して述べなさい。

問七 筆者の考え方にあなたは納得しましたか。はじめに「納得した」か「納得しなかった」かを答えた上で、その理由を二〇〇字以内で述べなさい。その際に本文中にない具体例を一つ以上あげなさい。

二 次の①～⑤のカタカナの語を漢字に直しなさい。

- ① 国際紛争を解決する手段としては戦争を ホウキ する。
- ② 総理大臣が防衛大臣を コウテツ する。
- ③ 自分の責任を他人に テンカ すべきでない。
- ④ 高額の ホウシユウ を受けとった。
- ⑤ できるだけ ジンソク に行動する。